



テクノリサーチパーク内のオフィスで仕事の内田さん。

帰りたいふるさとに良い仕事の受け皿を

—Uターンアドバイザー制度で
六百余人が熊本へ—

知事 橋本さんの先駆的な話や、内田さんから東京本社での話などありましたが、今、労働時間の短縮が言われています。日本の平均労働時間が長く、国際的に問題になっています。その中で熊本はまた全国平均より長い。総労働時間で言うと、全国が二〇五二時間に対して熊本が二一一七時間。四十七道府県の中で長い方から八番目です。最近の若い人の関心は賃金水準よりむしろ、労働時間の短さにあると言われています。良い人材を集めようとしたら、それ相当の労働条件にしていかなきゃならないんじゃないか。企業にとって何よりも大切なのは良い人材を集めること。その大きなハードルを越えるためにも、また他県にできて熊本にできないはずがないと、経済界の方々に機会あるごとに言っています。

私もずっと東京にいて、Uターン組の一人の気持ちで知事になったわけですが、熊本へ帰り、本当に住みやすいと思いました。水もおいしい、空気もいい。鳥もいる、花も咲く。そして歴史的、文化的遺産があちこちにある素晴らしいところです。一度都会に行った人たちが、帰りたいがるような郷里にし、かつそこに勤め先の受け皿をきちんとつくっていくことが大切です。Uターンアドバイザー制度で、帰っていただいた方は六百人を超えているかと思いますが、東京、大阪に続き、昨年は、名古屋にも事務所を作りました。

こういった労働に関するいろんな事例をうまく進めていくために、地域雇用環境整備事業をすすめています。また、働く方々の講習会や研修会、健康づくりの場としても活用していただけるような勤労者総合福祉センターB型を計画しています。労働福祉の殿堂とも言える、来たるべきゆとり社会を支える先導的大規模施設です。来年度の子算では非スタートさせたいと思っています。

※注1 Uターンアドバイザー制度
Uターン人材の帰県促進及び定着を図るための公共情報提供システムとして昭和五十九年四月に全国で初めて発足した制度。県東京事務所、大阪事務所、名古屋事務所、熊本公共職業安定所（人材銀行）にUターンアドバイザーを配置している。

※注2 地域雇用環境整備事業
魅力ある雇用機会の創出等、質的な雇用構造改善を目的に昨年十一月、雇用環境整備協会を設立。ここに、県、市町村、企業等の負担による基金を創設した。基金の総額は平成五年度までに二十億円を目指している。

定年延長、障害者の雇用、 ますますの雇用環境の整備を

橋本 大変心強いお話です。今、高齢者や婦人の戦力化、外国人労働者の導入など、いろいろ取りざたされておりますが、まず何より経営者の意識向上が早く行われなければと思います。八代には「経営塾八驚会」という中小企業後継者候補の若手集団が、十五年も前から勉強を続けています。現在三十数名おりますが、このメンバーがそれぞれの企業の中核となり、働く人たちの幸せづくりを念頭に置いて経営を続けていく日がもうすぐそこまで来ている。私はそれが一番楽しみに見守っています。

自社の今後の目標は、定年延長と有給休暇消化率の向上です。それと、地域差の少ない給料が出せ、若い人に魅力ある会社づくりをしたいと思っています。そういう願望を成就させる生産性をみながら力をあわせて成し上げていきたいと思っています。

緒方 私は一年間の育児休暇がとれたので、仕事を続けていくことができたんですが、私の友人には、仕事は続けたいが育児休暇がとれずやめなければならぬという人も多くいました。育児休暇がとれるよう、制度が定着することを望んでいます。また、働く女性として完璧さを追求しないで、一人で何でも頑張らずに、協力してもらえん人を探したりして、仕事をしたいという思いを諦めないで欲しいと思います。そういう思いを持ってれば「女性も社会に出て働ける」「女性は働こうという意識が強い」ことをみんなで見せたいと思います。

育児休業法も施行されますし、まず労働時間を守り、男性も育児や家事をする

のが当たり前という社会の風潮になれば女性性としてもっと働きやすい社会になると思います。

内田 私の勤務している会社では、今度熊本の九州支社が独立法人になります。そうした中で、熊本にSE集団、技術集団をつくりあげたいと考えています。日本の中では、熊本というと地方として捉えられませんが、外国から眺めればどこもそう変わらないと思うんですね。そこで、例えばイギリスのソフトウェア社と連携して仕事をしたりして、地位を向上させたいと考えています。技術を持った人たちが満足できる仕事レベル、そういったものを目指したいし、またそういう企業の育成を図って欲しいと思います。

知事 労働問題というのは大変幅広い分野です。今日お話しました以外にも定年制の延長や障害者の雇用などいろいろあります。果としてはこれからまた最大限の努力をしていきます。雇用環境整備協会、あるいはお年寄りのためのさわやか長寿財団も昨年の秋に発足しました。併せて、働く方々の一層の幸せのために啓発も行ってきたいと思います。

本日はどうもありがとうございました。



財熊本県雇用環境整備協会の事業内容

- ①情報の提供、啓発相談
- ②Uターン費用の助成
- ③人材確保・育成のためのセミナー
- ④福利施設整備助成金
- ⑤雇用改善推進事業
- ⑥従業員研修の助成

お問い合わせは
熊本県職業安定課
(096)383-1111へ

WORK

労働

知事対談

労働を「朗働」に
—働く人々の一層の幸せを目指して—